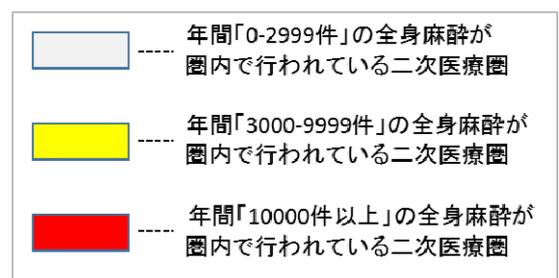
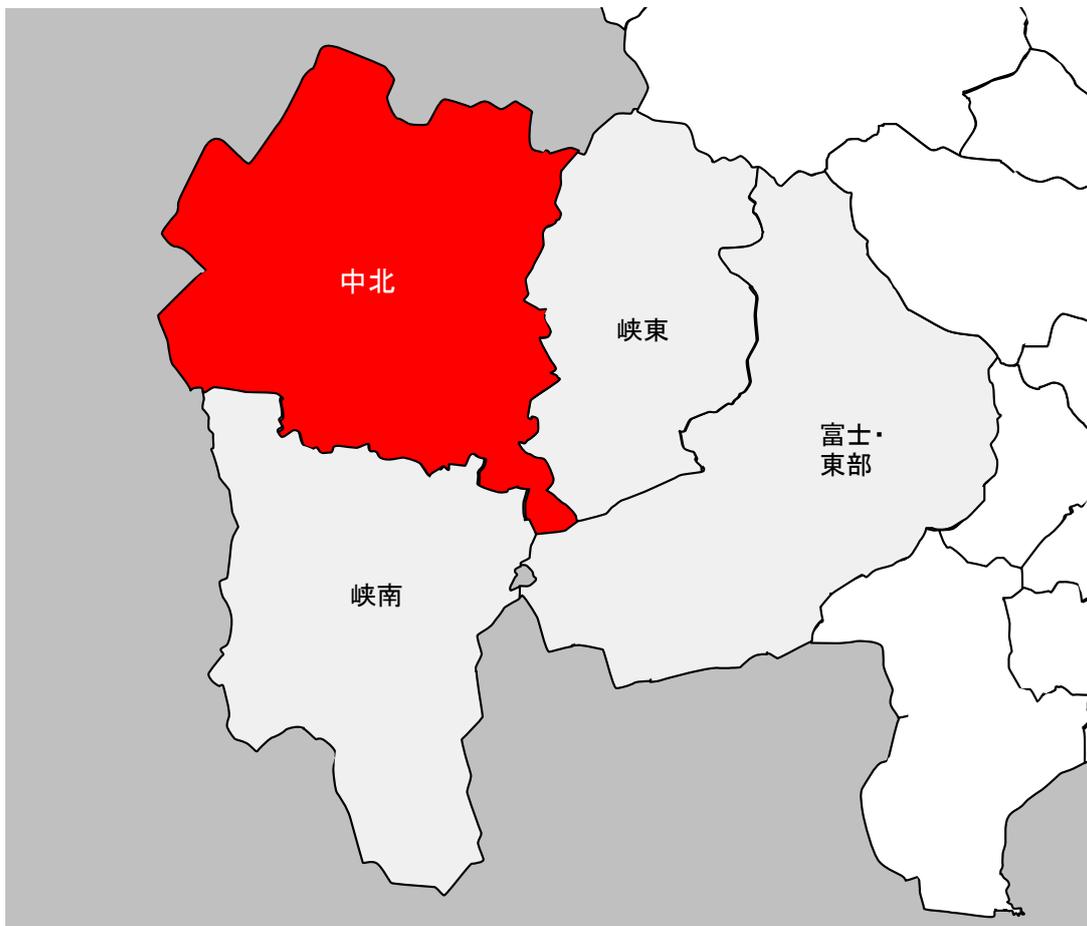


19. 山梨県



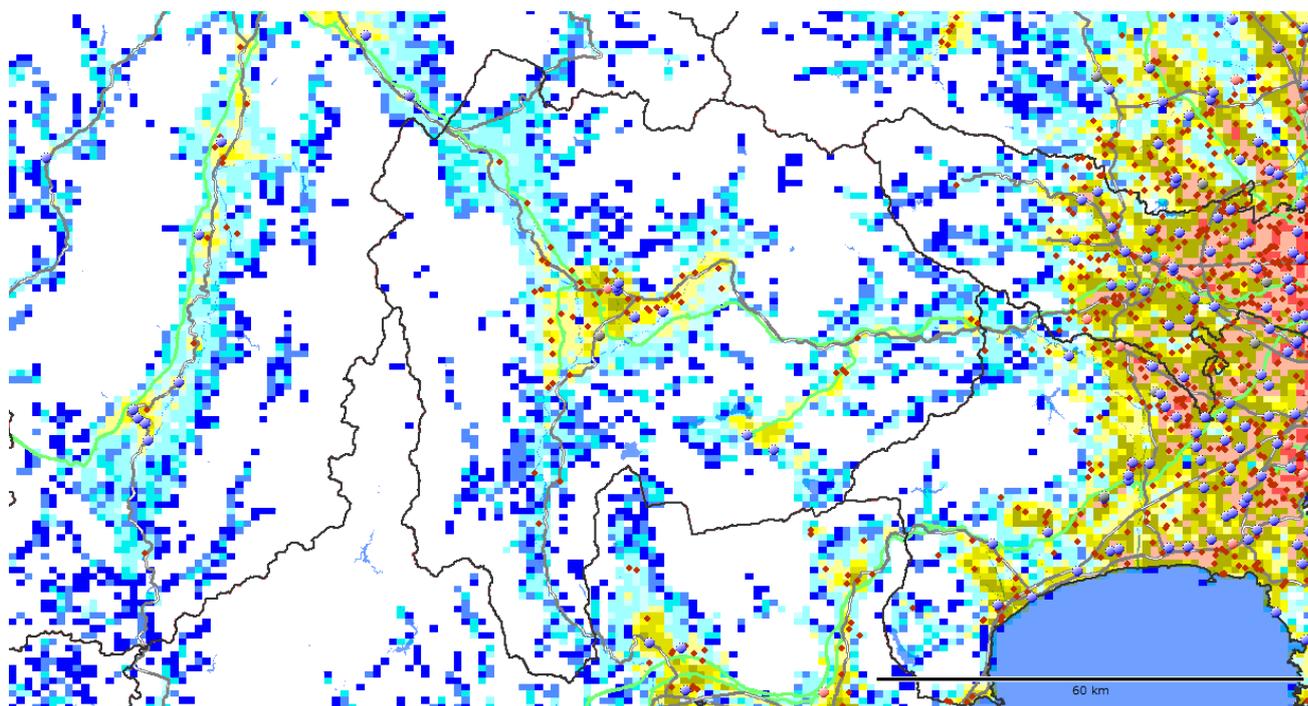
19. 山梨県

目次

山梨県.....	19 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	19 - 7
1. 中北医療圏.....	19 - 15
2. 峡東医療圏.....	19 - 19
3. 峡南医療圏.....	19 - 23
4. 富士・東部医療圏.....	19 - 27

19. 山梨県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 山梨県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(山梨県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 山梨県は、総人口約 838 千人(2015 年推計)、面積 4461 km²、人口密度は 188 人/km²である。

*人口の将来予測： 山梨県の総人口は 2025 年に 776 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 666 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 121 千人が、2025 年にかけて 149 千人へと増加し(2015 年比+23%)、2040 年には 155 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 山梨県の一人当たり医療費(国保)は 294 千円(偏差値 46)、介護給付費は 254 千円(偏差値 51)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 山梨県の一人当たり急性期医療密度指数²は 0.99、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.04 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 48、診療所医師数 48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 59 と多く、回復期病床数は偏差値 60 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 山梨県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9409 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 7003 床(偏差値 49)、高齢者住宅等が 2406 床(偏差値 38)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8412 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 45、有料老人ホーム 41、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 41、サ高住 47 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1112 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は8420床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は6900床であり、その差は-1520床(-18%)である。

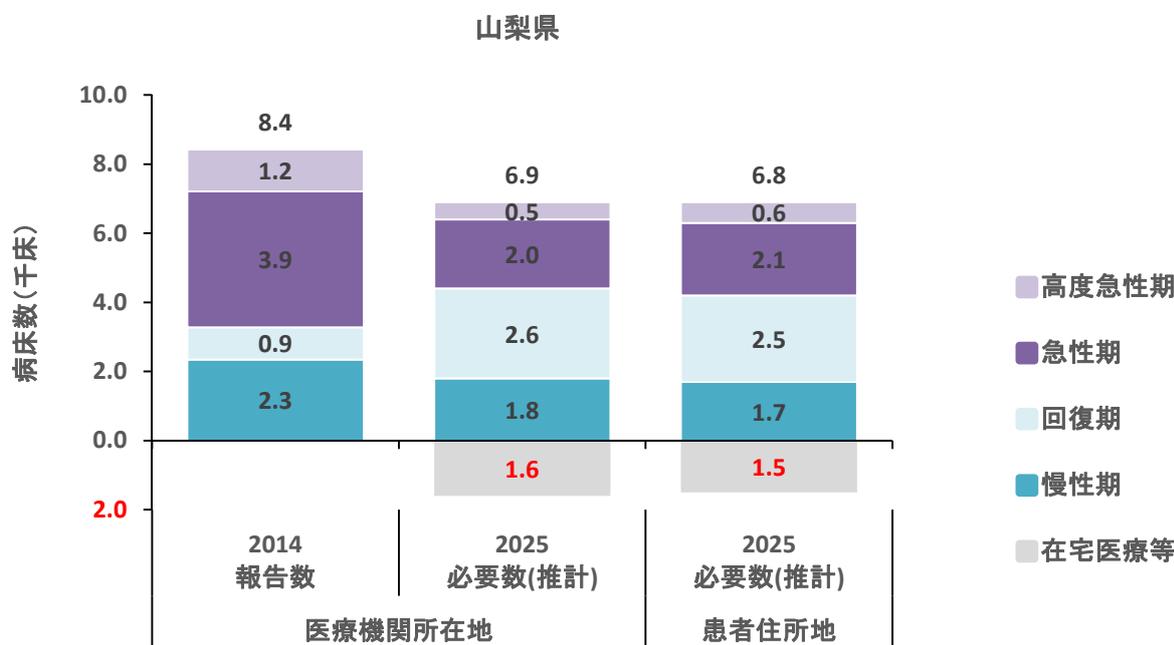
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1206床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は500床であり、その差は-706床(-59%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は3935床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2000床であり、その差は-1935床(-49%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は930床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2600床であり、その差は+1670床(+180%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は2349床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1800床であり、その差は-549床(-23%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は1600人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は-18%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-51%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

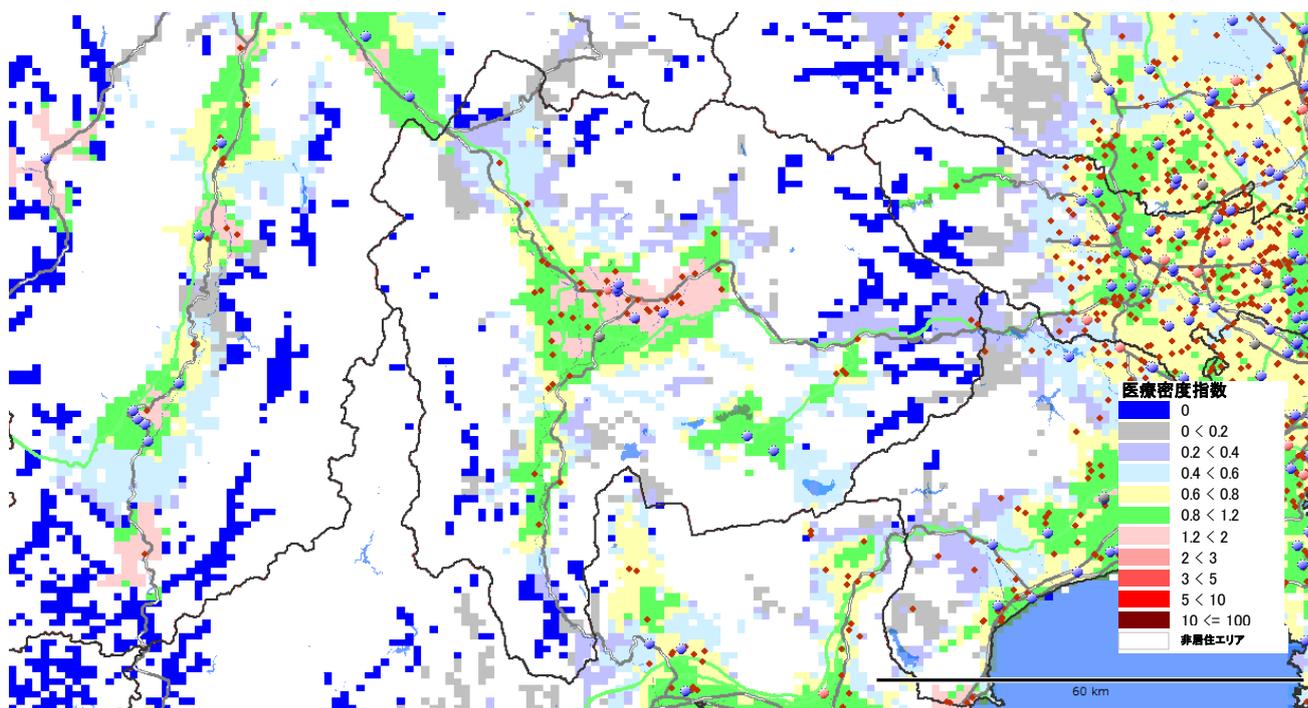
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

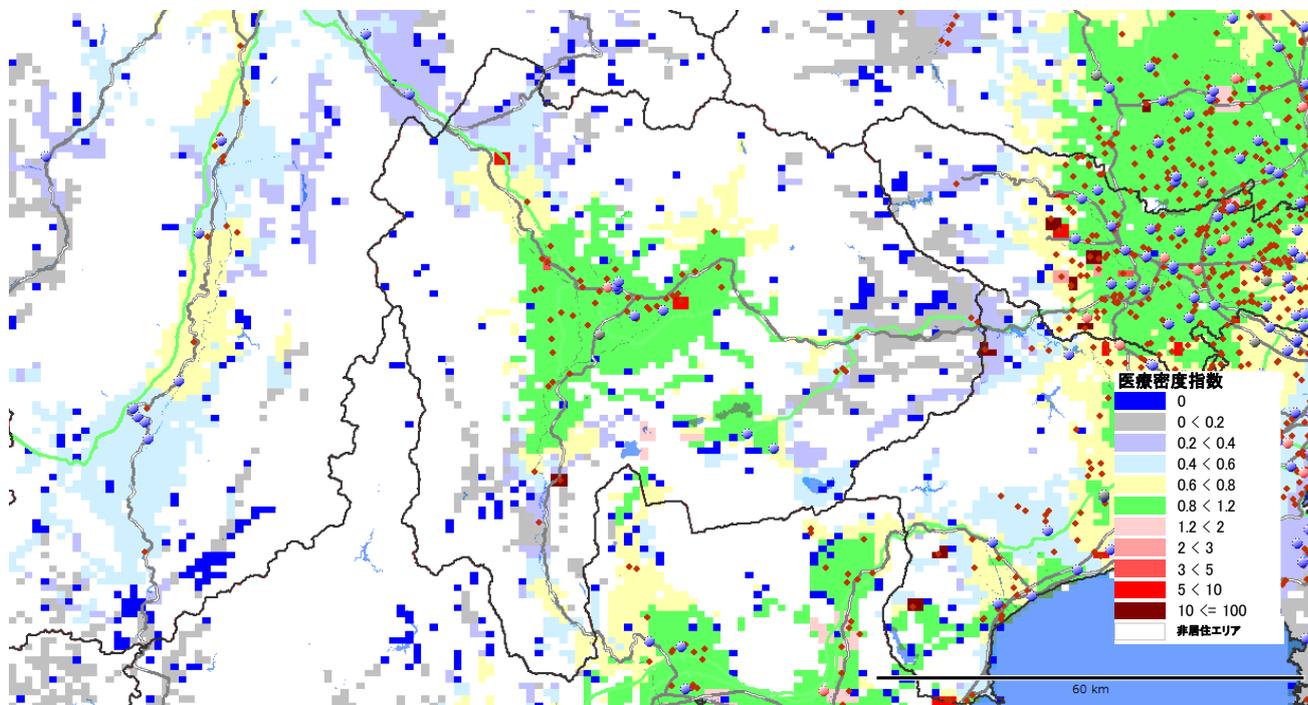
19. 山梨県

2. 医療密度⁵

図表 19-1 急性期医療密度指数マップ



図表 19-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 19-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
山梨県	838	41位	4,461	32位	187.8		28%	776	666	121	149	155	-7%	-14%	23%	4%
中北	467	56%	1,336	30%	349.5	地方都市型	27%	443	393	62	81	85	-5%	-11%	31%	5%
峡東	136	16%	756	17%	179.6	過疎地域型	30%	123	103	21	26	26	-10%	-16%	24%	0%
峡南	53	6%	1,060	24%	50.5	過疎地域型	37%	45	34	12	12	11	-15%	-24%	0%	-8%
富士・東部	181	22%	1,309	29%	138.6	過疎地域型	28%	164	136	26	31	33	-9%	-17%	19%	6%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 19-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
山梨県	0.99	1.04	-17.9%	-44.9%	-50.9%
中北	1.13	1.32	-25.5%	-62.2%	-72.0%
峡東	1.18	1.25	-0.6%	-21.2%	-20.9%
峡南	0.68	0.60	-14.3%	-15.9%	-6.3%
富士・東部	0.61	0.86	-48.6%	-77.2%	-90.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

19. 山梨県

資_図表 19-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
山梨県	294	46	254	51
中北	289	45	250	50
峡東	301	48	263	53
峡南	353	60	310	66
富士・東部	289	45	233	45
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 19-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
山梨県	60	0.7%	7.2	51	683	0.7%	82	51
中北	32	53%	6.9	50	408	60%	87	54
峡東	14	23%	10.3	59	84	12%	62	41
峡南	6	10%	11.2	61	50	7%	94	57
富士・東部	8	13%	4.4	44	141	21%	78	49
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 19-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
山梨県	683	0.7%	82	51	627	0.7%	75	51	56	0.6%	6.7	49
中北	408	60%	87	54	371	59%	79	54	37	66%	7.9	51
峡東	84	12%	62	41	80	13%	59	43	4	7%	2.9	44
峡南	50	7%	94	57	47	7%	88	58	3	5%	5.6	48
富士・東部	141	21%	78	49	129	21%	71	49	12	21%	6.6	49
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 19-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
山梨県	11,114	0.7%	1,327	52	655	0.5%	78	48	11,769	0.7%	1,405	51
中北	6,250	56%	1,339	52	432	66%	93	50	6,682	57%	1,431	52
峡東	2,614	24%	1,926	63	68	10%	50	46	2,682	23%	1,976	61
峡南	559	5%	1,046	46	21	3%	39	45	580	5%	1,085	46
富士・東部	1,691	15%	932	44	134	20%	74	48	1,825	16%	1,006	44
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 19-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
山梨県	6,345	0.7%	758	52	2,232	0.7%	266	50	2,459	0.7%	294	51
中北	3,592	57%	769	53	1,238	55%	265	50	1,382	56%	296	51
峡東	1,363	21%	1,004	63	688	31%	507	62	541	22%	399	56
峡南	405	6%	758	52	150	7%	281	51	0	0%	0	38
富士・東部	985	16%	543	43	156	7%	86	42	536	22%	295	51
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 19-8 回復期リハビリ病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)
山梨県	892	1.2%	107	60
中北	253	28%	54	49
峡東	639	72%	471	139
峡南	0	0%	0	37
富士・東部	0	0%	0	37
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期 リハビリテーション病棟連絡協議会の独 自調査 平成27年3月			

19. 山梨県

資_図表 19-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
山梨県	15,816	0.6%	1,888	48	6,720	0.6%	802	49
中北	11,976	76%	2,565	56	4,992	74%	1,069	58
峡東	1,680	11%	1,238	42	576	9%	424	36
峡南	300	2%	561	34	0	0%	0	21
富士・東部	1,860	12%	1,025	39	1,152	17%	635	43
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 19-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
山梨県	2,021	0.6%	241	48	1,279	0.6%	153	48	743	0.6%	89	48
中北	1,331	66%	285	53	866	68%	185	53	465	63%	100	51
峡東	290	14%	214	45	206	16%	151	48	84	11%	62	39
峡南	94	5%	175	40	54	4%	102	41	39	5%	73	42
富士・東部	308	15%	169	40	153	12%	84	38	155	21%	85	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 19-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
山梨県	6,969	0.7%	832	50	5,712	0.6%	682	49	1,258	0.7%	150	51
中北	4,260	61%	912	52	3,416	60%	732	51	843	67%	181	55
峡東	1,422	20%	1,047	57	1,259	22%	928	59	162	13%	120	47
峡南	342	5%	639	43	274	5%	513	42	68	5%	127	48
富士・東部	946	14%	522	39	762	13%	420	38	184	15%	102	44
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 19-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
山梨県	1,102	1.0%	132	59	1,593	0.6%	190	47
中北	450	41%	96	52	1,039	65%	223	50
峡東	561	51%	413	116	249	16%	183	46
峡南	31	3%	58	44	60	4%	112	38
富士・東部	61	5%	33	39	245	15%	135	41
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 19-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
山梨県	58	0.4%	0.5	41	6	0.6%	0.0	48
中北	34	59%	0.5	43	2	33%	0.0	45
峡東	14	24%	0.7	45	2	33%	0.1	55
峡南	0	0%	0	31	2	33%	0.2	69
富士・東部	10	17%	0.4	39	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 19-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
山梨県	9,409	0.6%	78	39	7,003	0.7%	58	49	2,406	0.4%	20	38
中北	5,016	53%	80	41	3,528	50%	57	48	1,488	62%	24	41
峡東	1,915	20%	90	47	1,261	18%	59	51	654	27%	31	46
峡南	883	9%	77	38	813	12%	71	59	70	3%	6	29
富士・東部	1,595	17%	62	29	1,401	20%	54	47	194	8%	8	30
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

19. 山梨県

資_図表 19-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
山梨県	2,819	0.8%	23	53	3,940	0.7%	33	50	244	0.4%	2.0	45
中北	1,415	50%	23	52	1,958	50%	31	49	155	64%	2.5	46
峡東	510	18%	24	54	733	19%	35	52	18	7%	0.8	42
峡南	324	11%	28	61	489	12%	43	60	0	0%	0	40
富士・東部	570	20%	22	51	760	19%	30	47	71	29%	2.8	46
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
山梨県	448	0.2%	3.7	41	0	0.0%	0	43	786	0.4%	6.5	41
中北	134	30%	2.1	39	0	0%	0	43	531	68%	8.5	45
峡東	314	70%	14.8	52	0	0%	0	43	141	18%	6.6	42
峡南	0	0%	0	37	0	0%	0	43	42	5%	3.7	36
富士・東部	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	9%	2.8	35
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
山梨県	1,172	0.6%	9.7	47	0	0.0%	0	45	1,172	0.6%	9.7	48
中北	823	70%	13.2	53	0	0%	0	45	823	70%	13.2	54
峡東	199	17%	9.4	47	0	0%	0	45	199	17%	9.4	47
峡南	28	2%	2.4	35	0	0%	0	45	28	2%	2.4	35
富士・東部	122	10%	4.7	39	0	0%	0	45	122	10%	4.7	39
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
山梨県	1,011	0.7%	8.4	46	743	0.6%	6.2	46	268	0.7%	2.2	49
中北	558	55%	9.0	49	378	51%	6.1	46	181	67%	2.9	58
峡東	176	17%	8.3	46	141	19%	6.6	48	36	13%	1.7	43
峡南	99	10%	8.6	47	79	11%	6.9	49	20	8%	1.8	44
富士・東部	177	18%	6.9	40	146	20%	5.7	44	31	12%	1.2	37
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （介護施設 等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
山梨県	9,524	0.7%	79	44	8,412	0.7%	70	46	1,112	0.5%	9.2	42
中北	5,072	53%	81	46	4,375	52%	70	47	696	63%	11.2	46
峡東	1,848	19%	87	49	1,697	20%	80	54	151	14%	7.1	39
峡南	916	10%	80	45	837	10%	73	49	79	7%	6.9	38
富士・東部	1,689	18%	66	36	1,503	18%	58	39	185	17%	7.2	39
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 19-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
山梨県	2,826	0.4%	23	41	2,016	0.6%	17	45	6,993	0.5%	58	41
中北	1,226	43%	20	40	1,112	55%	18	46	4,346	62%	70	44
峡東	1,127	40%	53	54	383	19%	18	47	1,061	15%	50	38
峡南	37	1%	3	33	152	8%	13	41	447	6%	39	34
富士・東部	436	15%	17	39	369	18%	14	42	1,139	16%	44	36
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

19. 山梨県

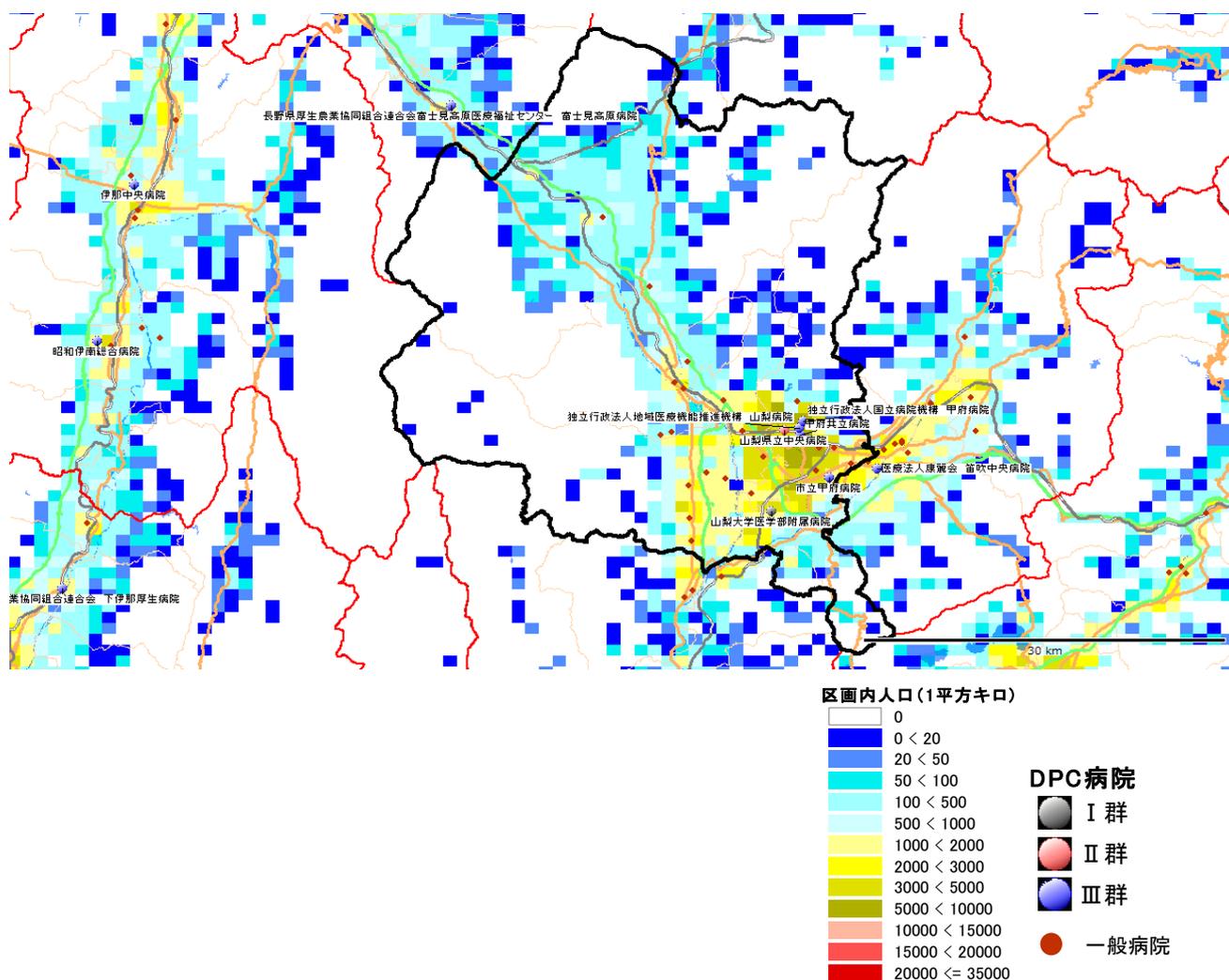
資_図表 19-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
山梨県	6,465	4,703	411	4,454	1,601	1,760	74.6%	59	18.9%	54
中北	3,784	2,806	168	2,342	792	1,015	78.0%	61	14.2%	52
峡東	962	639	60	1,628	720	626	47.0%	48	8.7%	50
峡南	414	354	56	134	40	94	89.8%	65	37.3%	62
富士・東部	1,305	904	127	350	49	25	94.9%	68	83.6%	82
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

ちゅうほく 19-1. 中北医療圏

構成市区町村¹ 甲府市, 韮崎市, 南アルプス市, 北杜市, 甲斐市, 中央市, 昭和町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 中北医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(中北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 中北(甲府市)は、総人口約 467 千人(2015 年推計)、面積 1336 km²、人口密度は 349 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 中北の総人口は 2025 年に 443 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 393 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 62 千人が、2025 年にかけて 81 千人へと増加し(2015 年比+31%)、2040 年には 85 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 中北の一人当たり医療費(国保)は 289 千円(偏差値 45)、介護給付費は 250 千円(偏差値 50)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 中北の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.32 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 53(病院医師数 53、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 56 と多い。中北には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の山梨大学医学部附属病院(I 群)、山梨県立中央病院(II 群・救命)、1000 例以上の市立甲府病院、500 例以上の甲府病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 49 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 中北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5016 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 3528 床(偏差値 48)、高齢者住宅等が 1488 床(偏差値 41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4375 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 46、有料老人ホーム 39、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 45、サ高住 53 で

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ある。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 43 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 45 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、696 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

【医療と介護の需要予測】

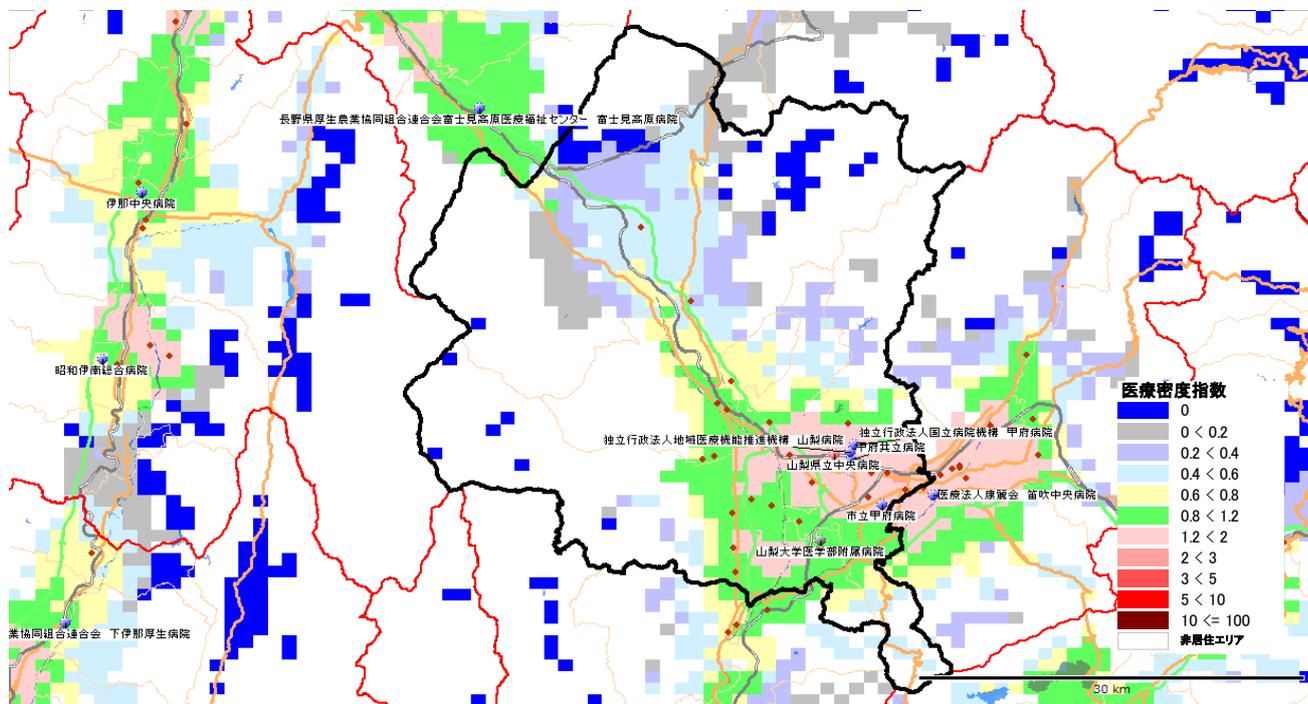
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-26%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は-72%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

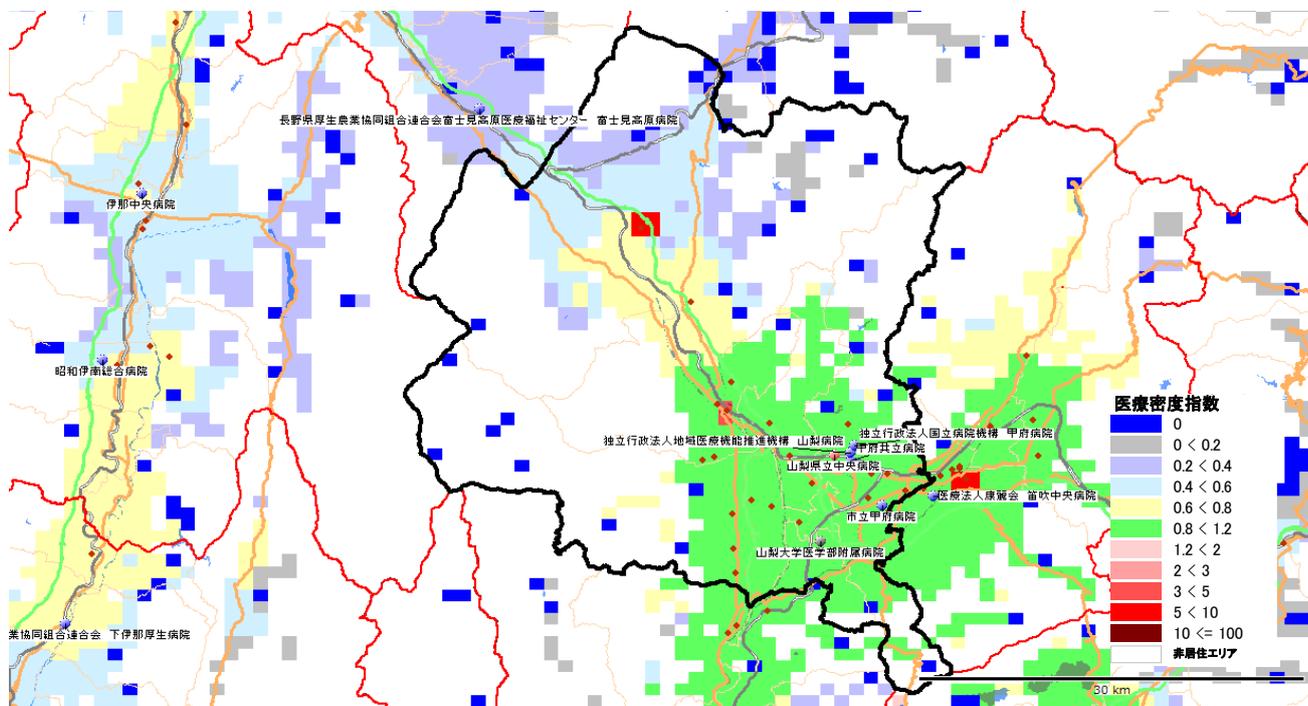
19. 山梨県

2. 医療密度⁵

図表 19-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 19-1-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

(峡東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 峡東(山梨市)は、総人口約 136 千人(2015 年推計)、面積 756 km²、人口密度は 180 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 峡東の総人口は 2025 年に 123 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 103 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 21 千人が、2025 年にかけて 26 千人へと増加し(2015 年比+24%)、2040 年には 26 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 峡東の一人当たり医療費(国保)は 301 千円(偏差値 48)、介護給付費は 263 千円(偏差値 53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 峡東の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.18、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.25 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 48、診療所医師数 39)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 57 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 63 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 42 と少ない。峡東には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の笛吹中央病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 62 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 116 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 139 と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 56 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 41 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 峡東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1915 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1261 床(偏差値 51)、高齢者住宅等が 654 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1697 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 42、有料老人ホーム 52、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 42、サ高住 47 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 55

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、151人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

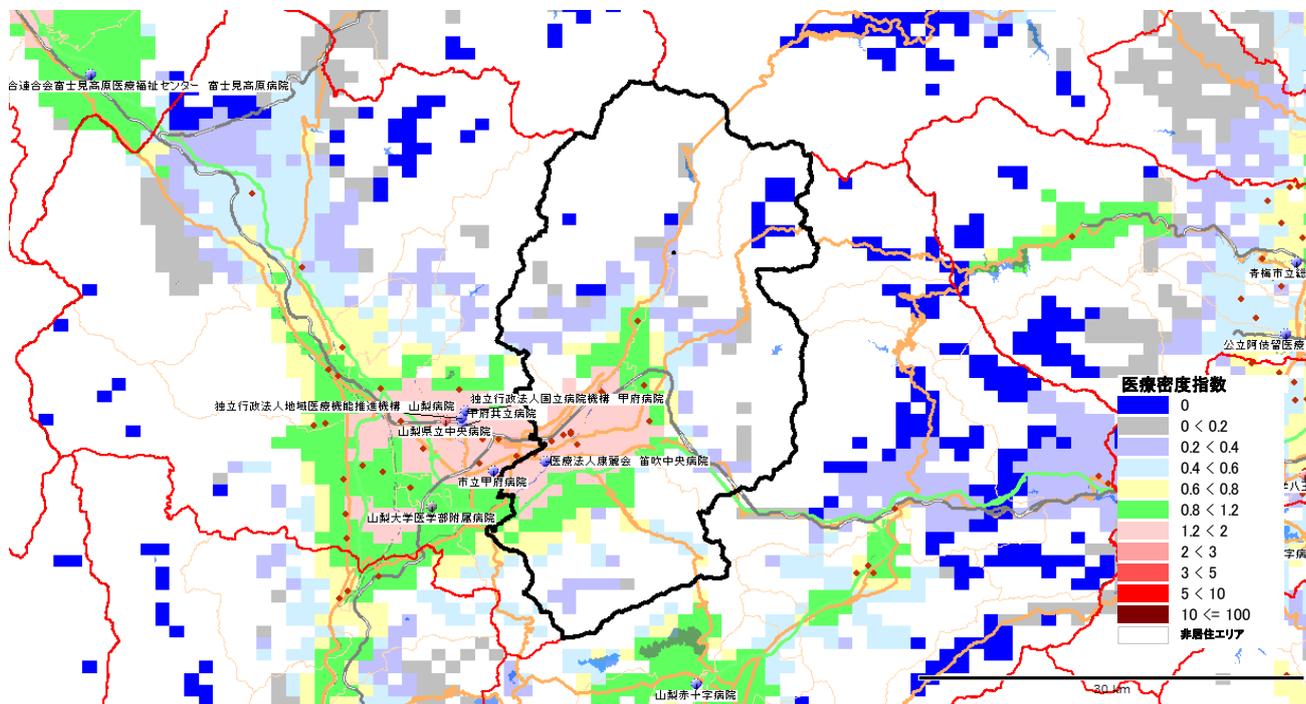
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

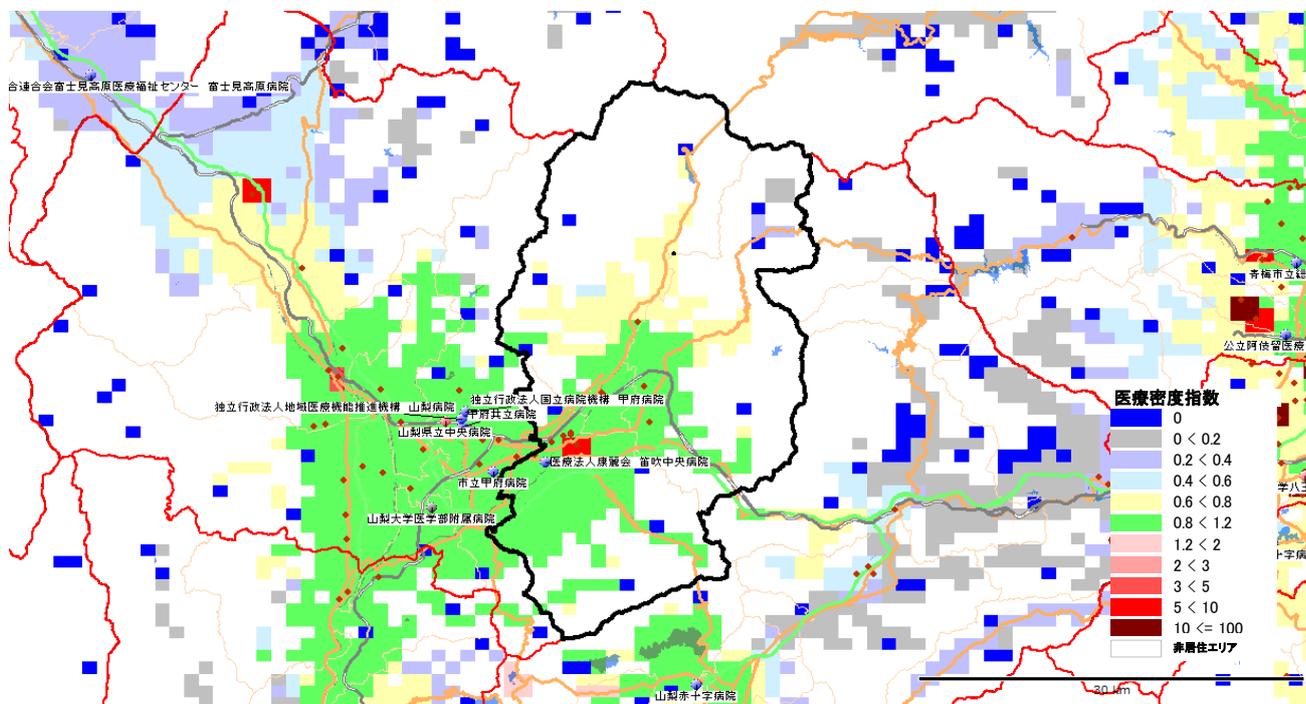
19. 山梨県

2. 医療密度⁵

図表 19-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 19-2-2 慢性期医療密度指数マップ

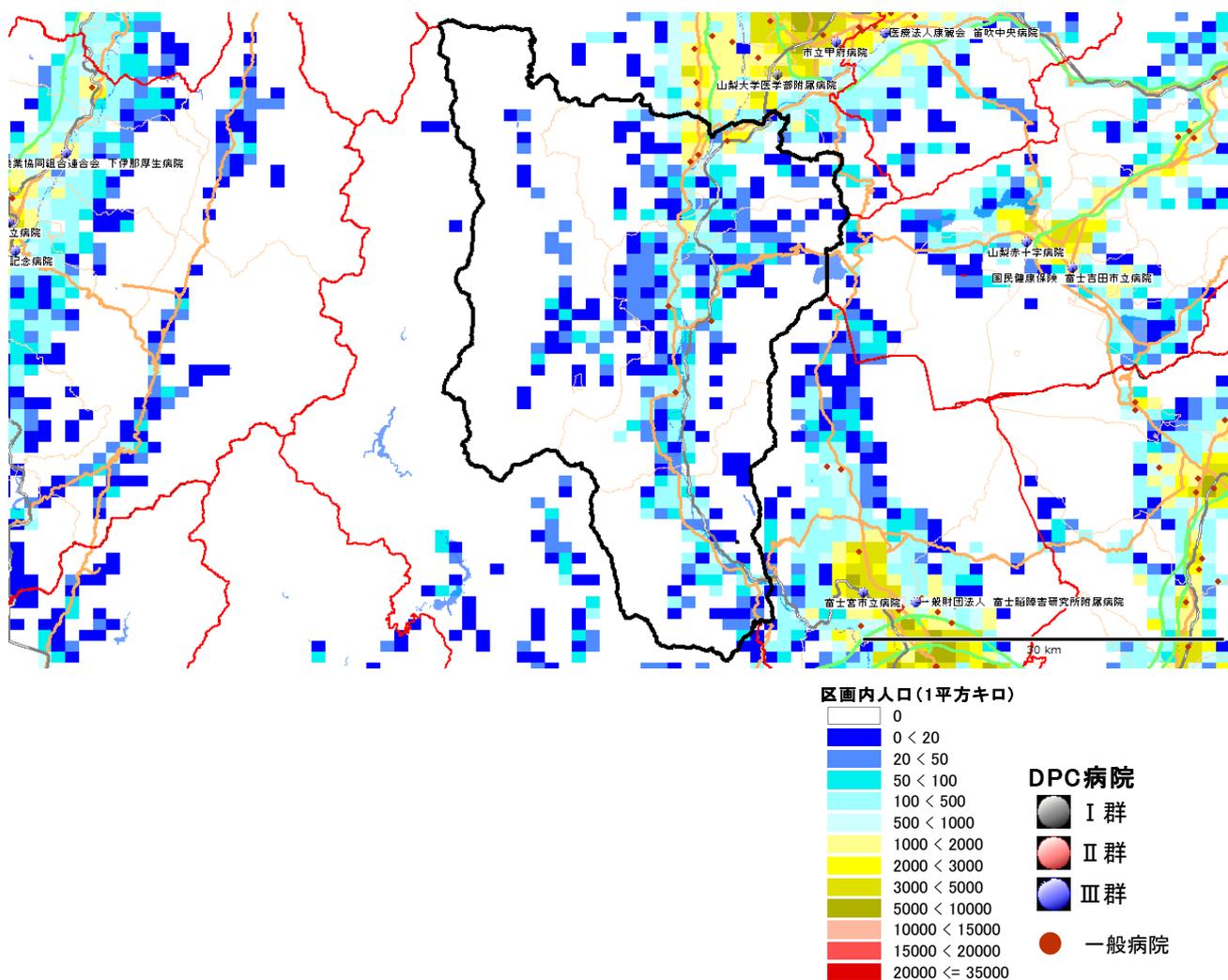


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

19-3. きょうなん 峡南医療圏

構成市区町村¹ 市川三郷町,早川町,身延町,南部町,富士川町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 峡南医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(峡南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 峡南(市川三郷町)は、総人口約 53 千人(2015 年推計)、面積 1060 km²、人口密度は 50 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 峡南の総人口は 2025 年に 45 千人へと減少し(2015 年比-15%)、2040 年に 34 千人へと減少する(2025 年比-24%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 12 千人が、2025 年にかけて 12 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 11 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 峡南の一人当たり医療費(国保)は 353 千円(偏差値 60)、介護給付費は 310 千円(偏差値 66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 峡南の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.68、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.6 で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 40(病院医師数 41、診療所医師数 42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 43 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 34 と非常に少ない。峡南には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 44 と少なく、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 精神病床は存在しない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 57 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 峡南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、883 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 813 床(偏差値 59)、高齢者住宅等が 70 床(偏差値 29)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、837 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 61、特別養護老人ホーム 60、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 36、サ高住 35 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値 69 と非常に多い。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、79人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

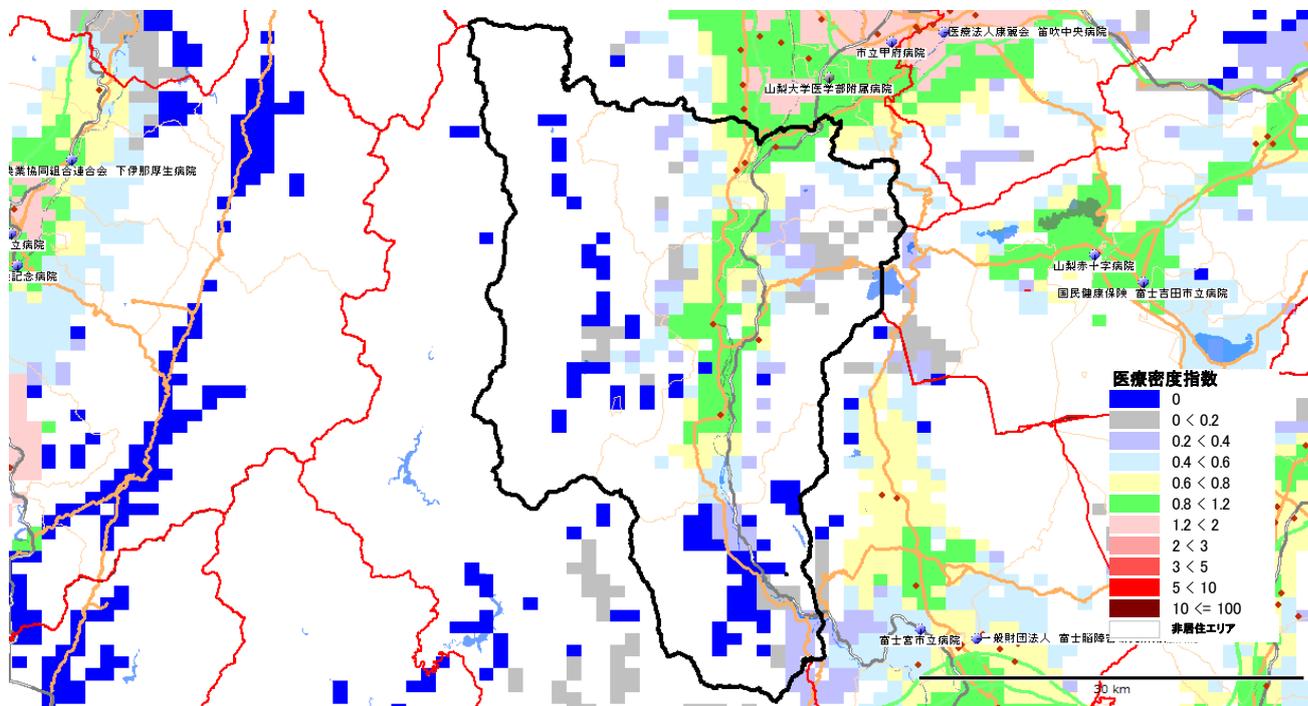
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は-14%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

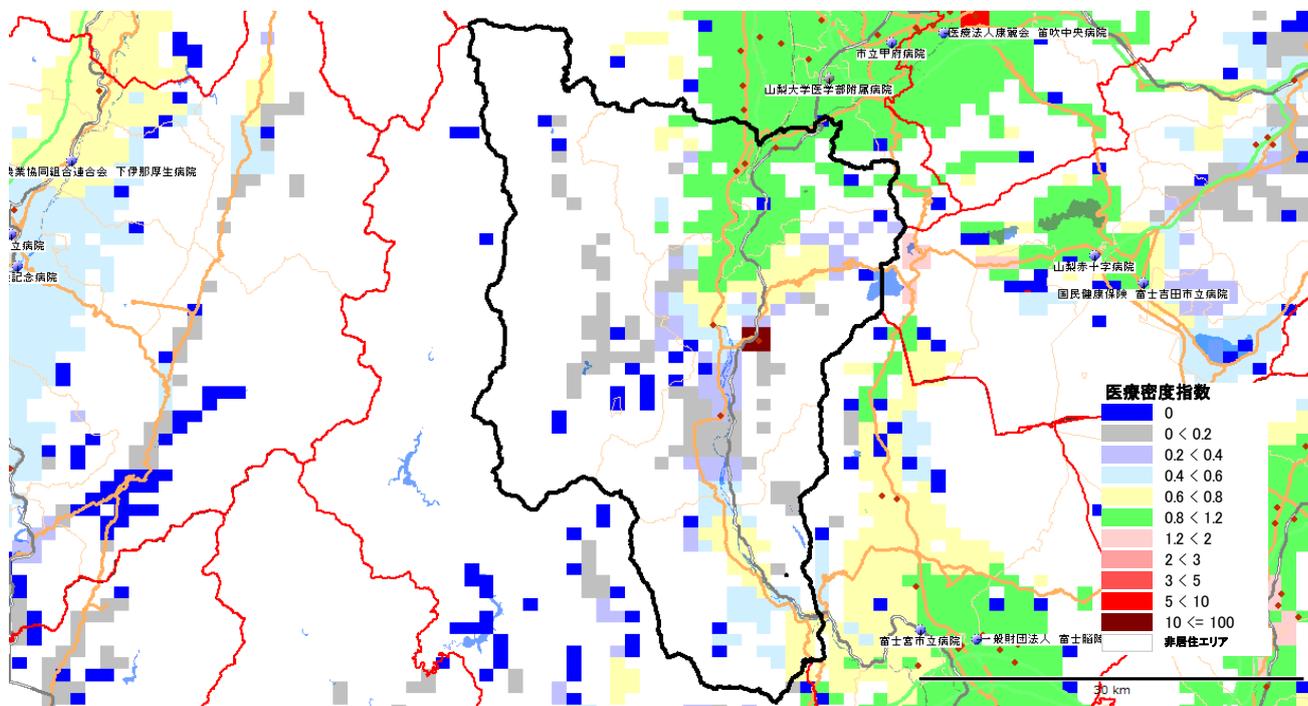
19. 山梨県

2. 医療密度⁵

図表 19-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 19-3-2 慢性期医療密度指数マップ

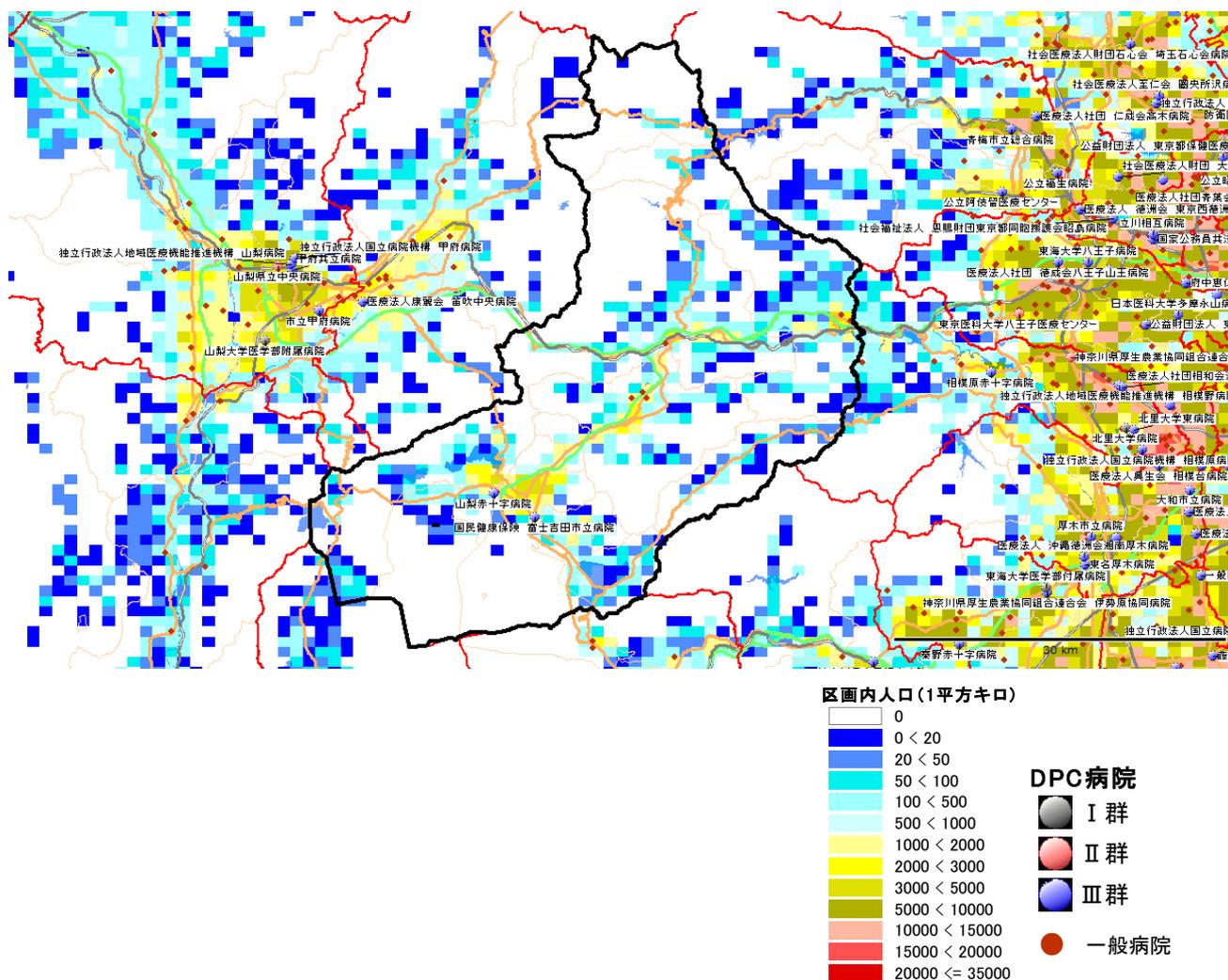


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

19-4. 富士・東部医療圏

構成市区町村¹ [富士吉田市](#), [都留市](#), [大月市](#), [上野原市](#), [道志村](#), [西桂町](#), [忍野村](#), [山中湖村](#), [鳴沢村](#),
[富士河口湖町](#), [小菅村](#), [丹波山村](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 富士・東部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(富士・東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富士・東部(富士吉田市)は、総人口約 181 千人(2015 年推計)、面積 1309 km²、人口密度は 139 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 富士・東部の総人口は 2025 年に 164 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 136 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 26 千人が、2025 年にかけて 31 千人へと増加し(2015 年比+19%)、2040 年には 33 千人へと増加する(2025 年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富士・東部の一人当たり医療費(国保)は 289 千円(偏差値 45)、介護給付費は 233 千円(偏差値 45)であり、医療費、介護給付費ともにやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富士・東部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.61、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.86 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 40(病院医師数 38、診療所医師数 46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 39 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 43 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。富士・東部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の富士吉田市立病院、山梨赤十字病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 42 と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 39 と少なく、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富士・東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1595 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 29)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1401 床(偏差値 47)、高齢者住宅等が 194 床(偏差値 30)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1503 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 51、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 46、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 35、サ高住 39 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 39 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。介護職員（在宅）の合計は、185 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

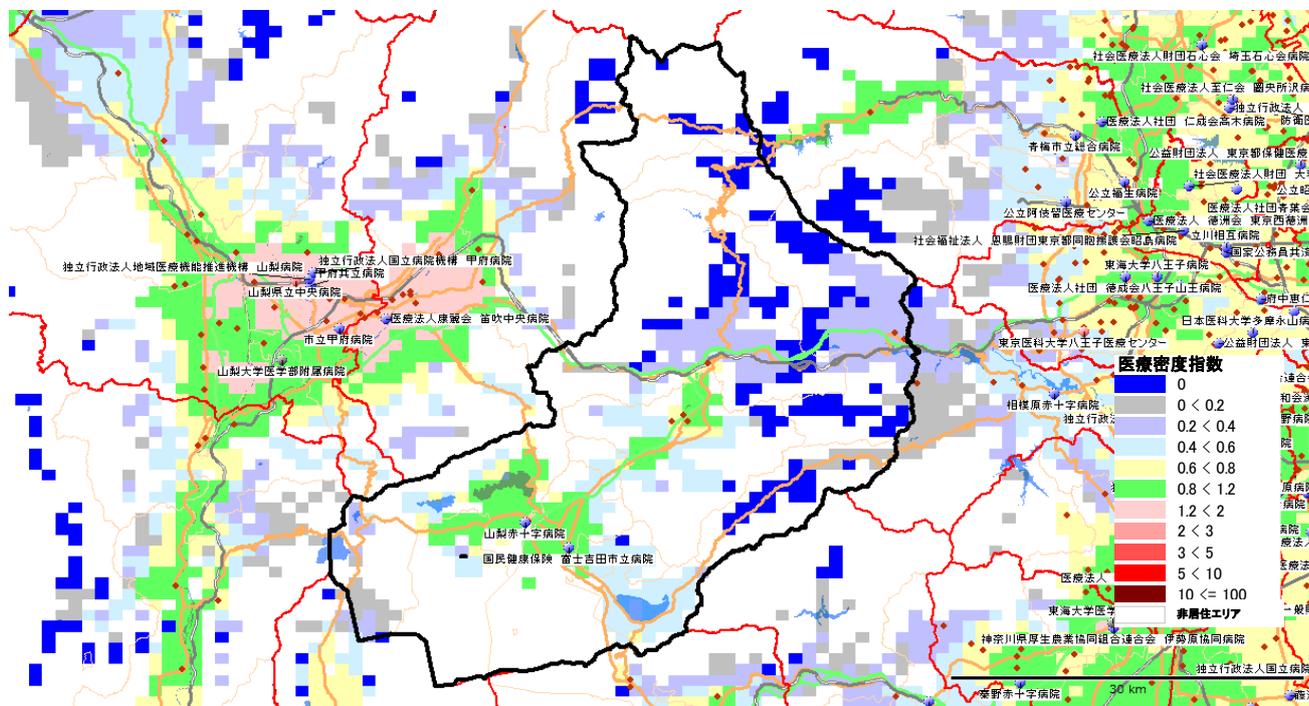
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-49%であり、介護の充足度はかなり低い。2040 年の介護充足度指数は-90%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

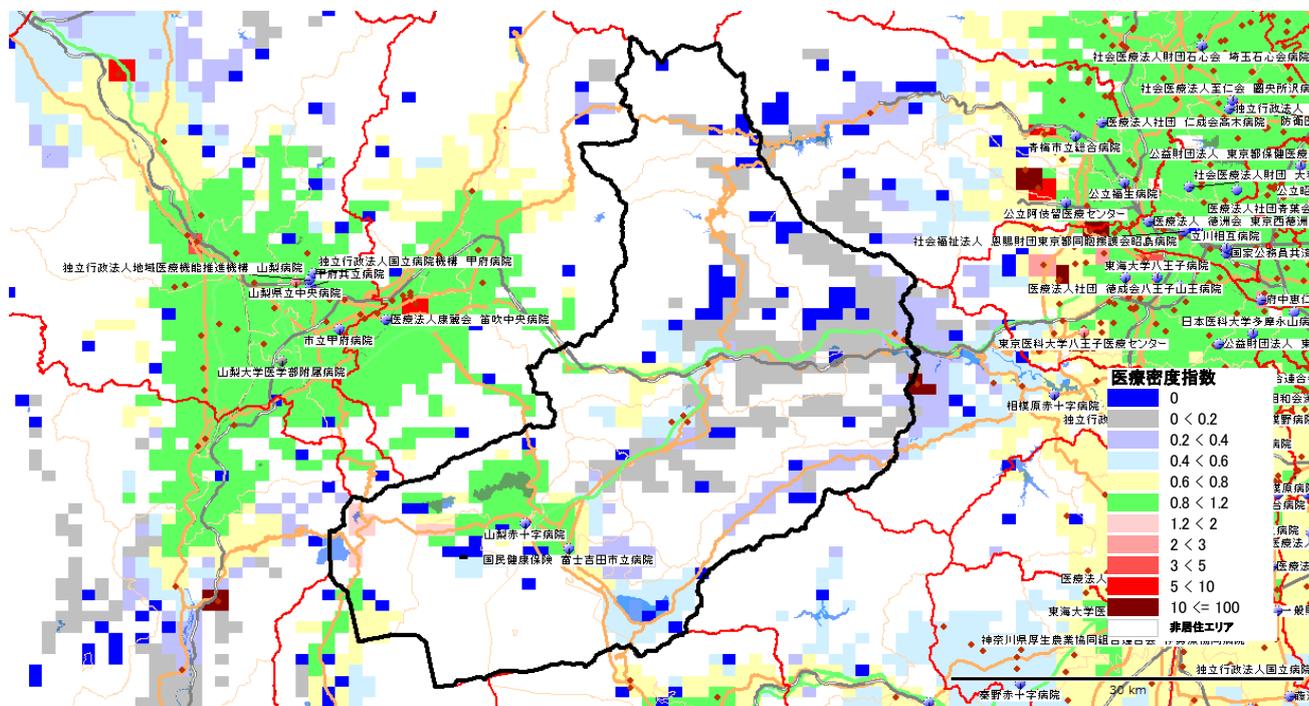
19. 山梨県

2. 医療密度⁵

図表 19-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 19-4-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。